【学校通信】

平成 30 年 1 月 11 日

第 27 号

西中の風

～継続と徹底～

伊丹市立西中学校長

大西　規之

挨拶、掃除できていますか？

挨拶、掃除はいい加減になっていませんか？挨拶は人を感動させたり、気持ちよくさせたり、掃除は人の信頼を得るようになったり、邪魔くさい、面倒だと思うことほど、また、当たり前のことほど大事なことなのです。「焚事徹底」。当たり前のことを当たり前にできるようになってほしいと思います。

①ある講師の先生が、ある公立中学校へ講演に行かれた時の話です。あまりにも気持ちの良い生徒たちだったので、ついつい講演に力が入ってしまったらしいです。その理由はというと次のようなことがあったようです。

「その日、講演開始の１時間前に学校に着きました。講演場所の体育館で、ホワイトボードや立ち位置などを確認するためです。すべてチェックを終えて校長室へ戻ろうとすると、何人かの生徒が体育館に入ってきました。会場にイスを並べるためです。私の姿を見るなり、個々に、「こんにちは！」と言いました。私も、慌てて、「こんにちは」と返しました。その後、渡り廊下を通って校舎の建物へ入ろうとすると、続々と生徒が向こうからやってきました。これまた同じように、一人も欠かすことなく全員が、「こんにちは」と挨拶して私とすれ違います。私も負けじと、「こんにちは」を連呼しました。廊下の角を曲がった時、目の前に女子生徒が現れました。彼女は、一旦、立ち止まり、「こんにちは！」と微笑んで挨拶してくれました。またまた、「こんにちは」と言いました。

ここで、私の感動はピークに達しました。今まで、数々の学校を訪問しました。 小学校から大学まで。たいていの学校で、「こんにちは」「いらっしゃいませ」と挨拶してくれます。しかし、全員ではありません。この中学は全員！なのです。そして極め付けは、立ち止まっての挨拶です。わかっちゃいるけど、なかなかできません。

企業を訪問して廊下を歩いていると、多くの場合、社員さんがすれ違う時に、「いらっしゃいませ」と言ってくれます。でも、全員ではありません。ましてや、立ち止まって挨拶されたという覚えがありません。

校長先生に尋ねました。「どうやって指導されたのですか？」と。すると、校長先生が赴任される前から実践されているとのこと。その始まりはわからないそうです。日頃から「上級生の良いところを見習おう」と呼びかけたり、上級生の良いところが伝わるような機会を何度も設けたりしているようです。 良い伝統として、もう、すっかり定着し、校風になっているのですね」

みなさん、この中学校に負けないくらい、挨拶の素晴らしい西中学校の良き伝統を引き継いでください。

②株式会社イエローハット創業者
鍵山 秀三郎　氏
～理想の会社像を追求し
凡事を徹底せよ～



年商９００億円を超えるカー用品販売会社、イエローハット。５６年前の１９６２年に産声をあげた同社は、鍵山氏が自転車の行商からスタートさせ、１９９７年には東証一部に上場、一流企業にまで育てあげました。

以下は掃除を大切にした鍵山氏の話です。

「はじめ社員はものすごく心が荒れているのです。この人たちの心をどうやって穏やかにするか。これが大きな課題でした。当時の私は口下手で、うまく言葉で想いを伝えることができませんでした。もちろん、感動的な文章も書けない。だとしたら、働く環境をきれいに（社内掃除を）して、心を穏やかにしてもらうしかない。これが私に残された唯一の手段だったのです。

掃除は、相手にとっては余計なことでも、私にとってはものすごく大事なことだったから、社内の掃除を続けました。その認識の差が縮まるまで、社内外ともに相当の年月がかかりました。社員からは「こんなことをするから、商売がうまくいかないんです」とか、「よそは汚いのに、なぜうちだけキレイにする必要があるんですか？」といった反発を受けました。でも、私は方針を変えなかった。まわりの人々に掃除の大切さを認識してもらうために、毎日掃除を続けました。

最初の１０年くらいは成果はありませんでした。むしろ、やればやるほど社員から「あてつけがましい」と批判されるようになりました。でも、他に良い方法が思いつかなかったんです。ですから、迷いながらも掃除をやり続けてきました。すると、設立から１２年が経った頃、変化が起きました。なんと社員が自主的に掃除や洗車をするようになったんです。私が命令したわけでもなければ、規則で決めたわけでもありません。その後、掃除をする人数が少しずつ増えていきました。さらに１０年が経った時、ほとんどの社員が朝早くから車を洗って、会社と近隣の道路を掃除するようになりました。おかげで「あの会社は掃除をする良い会社だ」と評判が立つようになりました。そして、なにより社風が良くなりました。社員は社風にしたがって仕事をしています。ですから、社風が良くなれば、自然と良い行動をとるようになります。それがお客さまへの信頼につながっていくわけです。実際、設立１５年目くらいから、少しずつお客さまが認めてくださるようになりました。すると、社員が自信を持つんです。自分たちがやっていることは正しいことなんだと。次第に「あの会社は社員の態度や言葉遣いが良い。しかも誠実だ」と評価されるようになり、発展の基盤が固まりました」

掃除を頑張って学校や学校の周りがきれいになると外部の方々からの信頼を得ることができます。

挨拶と掃除、よりいっそう頑張ってください。